

Japan Tobacco International  
1-12月期利益は2桁成長を達成、殆どの主要市場で引き続きシェアが伸長

海外たばこ事業実績速報 2013年1-12月期及び10-12月期

## 実績概要（前年同期比）

## 2013年1-12月期

- 当社の海外たばこ事業を運営する Japan Tobacco International の為替一定ベース<sup>1</sup>での調整後 EBITDA は、自社たばこ製品売上収益の増加が継続し、11.3%増の2桁成長を達成。
- 為替一定ベースでの自社たばこ製品売上収益は、堅調な価格・ミックス改善効果が、4.6%の総販売数量減の影響を上回り、6.1%増。Fine cut が数量ベースで18.4%増も、複数の市場における市場縮小と流通在庫量の調整等を受けて、総販売数量は減少。
- Winston の販売数量は好調に推移したものの、GFB 販売数量は0.8%減。

## 2013年10-12月期

- 総販売数量は、複数の市場における市場縮小の継続により3.2%減。GFB 販売数量は、前年同期との比較上のプラス要因により、3.1%増。
- 為替一定ベースでの調整後 EBITDA は、自社たばこ製品売上収益の着実な成長により11.9%増。
- 為替一定ベースでの自社たばこ製品売上収益は、堅調な価格・ミックス改善効果により10.3%増。

紙巻きたばこ及びfine cut を含む市場シェア<sup>2</sup>は、英国、イタリア、スペイン、台湾、トルコ、フランスを含む殆どの主要市場において引き続き伸長。ロシアでは売上シェア<sup>3</sup>及び GFB シェアが引き続き伸長。

## 2013年1-12月期の海外たばこ事業実績

（ ）:前年同期比増減率

	2012年					2013年				
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月
総販売数量 (億本)	989	1,135	1,155	1,086	4,365	926 (-6.4%)	1,090 (-3.9%)	1,096 (-5.1%)	1,051 (-3.2%)	4,164 (-4.6%)
うち GFB 販売数量 (億本)	611	697	716	663	2,688	584 (-4.5%)	695 (-0.3%)	703 (-1.8%)	684 (+3.1%)	2,666 (-0.8%)
自社たばこ製品売上収益 (百万ドル)	2,731	2,997	3,125	2,963	11,817	2,729 (-0.1%)	3,112 (+3.8%)	3,227 (+3.3%)	3,206 (+8.2%)	12,273 (+3.9%)
[参考] 為替一定ベース 自社たばこ製品売上収益 (百万ドル)	2,678	2,958	3,055	2,963	11,655	2,734 (+2.1%)	3,131 (+5.8%)	3,230 (+5.7%)	3,267 (+10.3%)	12,362 (+6.1%)

[参考] (百万ドル)	2012年					2013年				
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月
調整後 EBITDA	1,008	1,159	1,183	950	4,300	1,070 (+6.2%)	1,203 (+3.8%)	1,344 (+13.5%)	1,006 (+5.9%)	4,623 (+7.5%)
為替一定ベース 調整後 EBITDA	958	1,123	1,114	950	4,145	1,058 (+10.5%)	1,168 (+4.0%)	1,325 (+18.9%)	1,063 (+11.9%)	4,614 (+11.3%)

### 2013年1-12月期

- 為替一定ベースでの自社たばこ製品売上収益は、708 百万ドル増(6.1%増)。この成長は、価格・ミックスの改善効果 1,083 百万ドル(9.3%の引き上げ効果)が、数量減の影響を上回ったことによるもの。
- 為替一定ベースでの調整後 EBITDA は、469 百万ドル増(11.3%増)。この成長は、価格・ミックスの改善効果 1,066 百万ドル(25.7%の引き上げ効果)によるもの。

### 2013年10-12月期

- 為替一定ベースでの自社たばこ製品売上収益は、304 百万ドル増(10.3%増)。この成長は、価格・ミックスの改善効果 347 百万ドル(11.7%の引き上げ効果)が、数量減の影響を上回ったことによるもの。
- 為替一定ベースでの調整後 EBITDA は、113 百万ドル増(11.9%増)。この成長は、価格・ミックスの改善効果 344 百万ドル(36.2%の引き上げ効果)によるもの。

### 地域別実績: 2013年10-12月期 (前年同期比)

South & West Europe 地域では、フランス及びスイスにおいて販売数量が増加したものの、市場縮小継続を受けて、総販売数量は5.4%減となりました。また、GFB 販売数量は1.3%減となりました。市場シェアはイタリア、ギリシャ、スイス、スペイン及びフランスで伸長しました。

North & Central Europe 地域では、主にオーストリア、スウェーデン、チェコ共和国、ドイツ及びハンガリーにおけるGFBの力強い成長により、総販売数量は前年同期比で横ばい、GFB 販売数量は6.1%増となりました。英国では、市場縮小の影響を受けて販売数量が減少しましたが、市場シェアは伸長しました。加えて、アイルランド、オーストリア、ドイツおよびポーランドにおいても市場シェアが伸長しました。

CIS+地域では、コーカサス及びカザフスタンにおいて引き続き好調に推移したことから GFB 販売数量は1.3%増となりました。一方、総販売数量は5.8%減となりました。ロシアでは、市場規模が約8%縮小したことを受け、主に中価格帯から低価格帯のブランドの販売数量が減少したため、総販売数量とGFB 販売数量はそれぞれ、8.6%減、1.2%減となりましたが、売上シェア及びGFBの市場シェアは引き続き伸長しました。

Rest-of-the-World 地域では、トルコにおける2014年の増税前の流通在庫調整と、スーダン、台湾及びその他の東南アジア市場での成長を受けて、総販売数量及びGFB 販売数量はそれぞれ、0.6%増、8.6%増となりました。市場シェアは台湾、トルコ、マレーシアにおいて伸長しました。

## グローバル・フラッグシップ・ブランド(GFB)販売数量：2013年10-12月期（前年同期比）

「ウinston」の販売数量は、カザフスタン、コーカサス、台湾、中東・アフリカ市場、ドイツ、トルコ、フランス、ベネルクス及びロシアで増加し、5.1%増となりました。

「キャメル」の販売数量は、スペインにおける市場縮小及びトルコにおけるダウントレーディングが影響し、0.8%減となりました。

「メビウス」の販売数量は、東南アジア市場で増加したものの、主に台湾におけるダウントレーディングと韓国における市場縮小の影響を受けて、3.7%減となりました。

「LD」の販売数量は、コーカサス、カザフスタン、中東・アフリカ市場、トルコ及びハンガリーでの増加により、5.5%増となりました。

## 2013年1-12月期（前年同期比）

総販売数量は、コーカサス、スウェーデン、スーダン、台湾、チェコ共和国、ドイツ、トルコ、東南アジア市場、フランス、ベネルクス及びハンガリーで増加しましたが、複数の市場における市場縮小及び流通在庫量の調整等を受けて、4.6%減の4,164億本となりました。

GFB販売数量は、オーストリア、カザフスタン、コーカサス、スウェーデン、台湾、トルコ、チェコ共和国、中東・アフリカ市場、ドイツ、ハンガリー、ルーマニア及び東南アジア市場で成長しましたが、0.8%減の2,666億本となりました。

財務報告ベースの自社たばこ製品売上収益は3.9%増の12,273百万ドル、調整後EBITDAは7.5%増の4,623百万ドルとなりました。

### 注記:

<sup>1</sup> 為替一定ベースの指標は、当年の実績を前年の為替レートに基づき算出し直したものです。2013年において、大幅な為替変動、通貨価値下落、インフレが生じている市場の実績(もしくは見込み)は、財務報告ベースおよび為替一定ベースの指標とも、実績為替レート(見込みの場合は、想定為替レート)に基づいて算出されております。同様の方法で、当該市場における2012年の為替一定ベースの実績についても算出し直されております。ただし、為替一定ベースの実績については追加的に提供しているものであり、国際会計基準(IFRS)に基づく財務報告に代わるものではありません。

<sup>2</sup> 出典：Logista、Nielsen及びJTI内部データ。2013年12月時点の12ヶ月移動平均ベース。

<sup>3</sup> 出典はNielsen。2013年12月時点の12ヶ月移動平均ベース。

その他の定義については [http://www.jti.co.jp/investors/release/financial\\_report/definitions/index.html](http://www.jti.co.jp/investors/release/financial_report/definitions/index.html) をご参照ください。

### 【本件に関するお問い合わせ】

JT IR 広報部 東京都港区虎ノ門 2-2-1 代表 03-5572-4291